

○監査委員事務局の職員

(併) 監査委員事務室長

富田 一明

○土地開発公社の職員

土地開発公社事務局主査 (病院建設事務室主査)

小俣 賢司

○公平委員会部局の職員

(併) 公平委員会書記長

富田 一明

退職者

清水 寛 (参事・議会事務局長)

望月 享 (消防署次長)

森嶋 隆二

佐藤ひろみ (大学教務職員)

○水道企業職員

参事・水道課長 (水道課長)

元都留市長小林治郎氏には四月七日逝去されました。

氏は、昭和八年若くして谷村町会議員に当選し、その後昭和十五年には、谷村町長に就任、郡内中心の町として繁栄につとめると共に町財政の

健全化に努力し、町政の発展に大きな功績をあげました。さらに昭和二十九年四月谷村町を中心とする一町四力村を合併し、県下四番目の市として「都留市」の誕生に献身的な努力を払われました。

元都留市長

小林治郎氏逝去



氏は、都留市誕生と同時に初代都留市長に就任し、都留市の将来の発展は産業の振興にありとし、商工業の振興に多大の功績をあげられ今日ある都留市の基礎を築かれました。

昭和五十八年度

消防団役員改選

去る四月三日(日)、谷村第一小学校校庭において、都留市消防団員の辞令交付式が行われ、四月一日付で役員につきの方々が決まりました。

○団長 小俣 勲広
○副団長 佐野勝太郎

氏は、昭和三十四年には、山梨県議会議員に当選し、監査委員をはじめ各常任委員を歴任し、県勢振興に貢献されました。その後、山梨県人事委員会委員長などを歴任し地方自治のご功勞により、勲五等双光旭日章及び山梨県政功績者として受章の榮に輝いております。

なお、氏は、昭和二十七年郡内商工業の金融緩和をはかるため、谷村信用組合設立に尽力し、代表理事に就任、永年にわたり理事長として地域の産業経済発展に貢献されてまいりましたが、急性心不全のため八十三歳の生涯を終えられました。氏のご功勞に対し心から敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

高部 利幸

○谷村第一分団
分団長 矢部啓造、副分団長 渡辺欣吾、藤巻国男、本部長 藤江厚夫、花田 武、各部部長 田中進男、志村正治、中川一雄、奥秋 保、中村幸雄、西室 健、都倉平介、佐藤正弘、伊藤 勇、近藤力、原口芳明、森島 巖、村上貞夫

○谷村第二分団

分団長 重森利夫、副分団長 小林庸夫、小池武文、本部長 武井邦雄、各部部長 滝本康男、志村武文、小林三良、坂田弘和、志村 均、佐藤政平、高部 茂、宮沢友司、尾曲 力、清水俊行、小林敬芳

○東桂分団

分団長 中野昌夫、副分団長 菊地 富、三枝勲美、本部長 直井章治、各部部長 天野 珪、金子仁三、菊地昇一、渡辺春幸、渡辺 崇、伊藤雄一、白井茂幸、藤江保志
○禾生分団
分団長 鈴木芳男、副分団長 上野 仁、堀野義春、本部長 近藤明忠、各部部長

滝口禎一、小俣淳一、阪本太郎、梶本伸一郎、中村一男、矢野久幸
○宝分団
分団長 高部甲子郎、副分団長 奥秋皎明、米山 浩、本部長 草薙征一、各部部長 武井正明、小池亀夫、渡辺和里、佐藤 孝、青柳年男、土屋秀雄

○盛里分団
分団長 日向金五、副分団長 藤井嘉雄、市川重治、本部長 前田 進、各部部長 白井 武、清水能久、渡辺和之、岩沢武男

都留診療所から

市民の期待を担い、昭和五十五年十月に開設された、都留診療所は、現在次のとおり診療を行っております。

○診療科目 内科・外科

○診療時間 日曜、祭日、年末年始、市制施行記念日を除く毎日午前八時三十分から十一時まで。(ただし、外科については、毎週火曜日と毎月第二第四土曜日のみ診療を行っております。)

○入院 内科のみ可能

中央二丁目三番五号
都留診療所
☎ 五一一一七〇